

令和3年度 交通信号監理士 実務試験解答例

問1 (10点×5=50点) (施工ハンドブック 86P)

以下の項目から5つを解答

- ① 申請者
- ② 目的
- ③ 場所又は区間
- ④ 工事の期間・時間
- ⑤ 方法又は形態
- ⑥ 申請日
- ⑦ 現場責任者
- ⑧ 連絡方法

問2 (10点×5=50点) (施工ハンドブック 83P)

以下の項目から5つを解答

- ① 工事概要
工事名、工事場所、請負金額、工期、発注者、受注者及び工事内容などを記載する。
- ② 現場組織図
現場組織表、施工体系図(一次下請金額が3,000万円を超える場合)、下請負業者編成表(一次下請金額が3,000万円を超えない場合)からなる。
- ③ 工程管理
一定の品質及び規模の工事を工期に間に合うよう、核管理要素を効果的に運用するために行われる一連の管理活動。工程計画の作成は、施工計画書の中で重要性が高く、施工方法に基づき、安全及び品質など施工上必要な要件を踏まえて行う。
- ④ 施工方法
事前に現場照査を行い、施工手順及び機械設備などを記載する。施工要領、施工手順に分けて記述する。
- ⑤ 資材管理
指定材料、主要資材及び製造業者などを記載したリストを作成。資材の調達及び搬入時期などと工程表との整合性を把握する。設計図書との相違がないか品質確認手法について記載する。
- ⑥ 出来高管理
工事目的物が設計図に示されている品質、形状、寸法及び機能などと相違がないことを確認する。

⑦ 写真管理

工事完成後では確認できない箇所及び監督員に指示された部分を各施工段階における品質管理状況、出来高寸法及び施工状況などを写真撮影する。

⑧ 安全管理

労働安全衛生法などの関係法令を遵守し、作業員の安全な労働条件を確保する作業環境を形成するための方針を計画する。

⑨ 緊急連絡表

災害及び事故などが発生した場合の連絡先などを記載した緊急連絡表を作成する。

⑩ 交通管理

工事に伴う交通処理及び交通対策について記載する。

⑪ 環境対策

現場周辺の生活環境の保全と円滑な施工を行うために騒音、振動、ばい煙、粉塵の抑制に努める。

⑫ 産業廃棄物処理計画

マニフェストを交付するために工事で発生した廃棄物の種類、運搬業者及び処分先の適正な処理計画と再生資源の活用について計画する。

※採点要領

ア 3名の採点者が各々採点する。

イ 問1、問2ごとに、3名の採点結果の最小値と最大値の差が配点の3割を超えた場合は、3割以内になるまで協議を行う。

ウ 問1、問2ともに、3名の採点結果の平均点を得点とする。